

期待される5つの成果に関する評価

	評価	動向	提言
豊かな自然環境の保全と再生			<ul style="list-style-type: none"> ・今後も環境や産業の状況をモニタリングし、公的な研究機関や大学などと連携して科学的な検証を行いながら取り組みを進めていくことが必要 ・産業振興の取り組みとあわせて関係者が主体的に参加・協力し、豊かな自然の恵みの保全と管理の取り組みの輪を広げていくことが必要
持続的・安定的な農林水産業の実現			<ul style="list-style-type: none"> ・最終的な目標である地域そのもののブランド化を通して、生産物の付加価値の向上を図っていくことが必要 ・観光客などを対象に地産地消型の商品販売に結びつけることで経済効果の地域内循環と生産者価格の維持を図り、持続的・安定的な農林水産業に向けて具体的な動きを加速することが必要
魅力的な観光地の創生			<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド力を最大限に活用して観光地としての魅力を向上するため、志摩市の地域資源の素晴らしさの理由をより強調し、体感できる「里海ツーリズム」の展開を平成26年度に作成される観光振興計画にも位置づけることが必要 ・里海ツーリズムを展開して行くためには、市内で自然環境の保全や伝統文化の継承に携わる関係者をはじめ、農林水産業や商工業など様々な関係者が連携し、事業の運営やガイド、インタプリターの養成などを行う責任ある窓口として高度なマネジメント機能を発揮する伊勢志摩里海学舎運営組織の構築が必要 ・志摩市を訪れた人々が志摩市のファンとなり、観光客としてリピーター化するとともに、地域資源のテキスト化や6次産業化などを通して里海のコネクトを活用して生まれる志摩市の様々な商品の購買層となっていくなど、新しい観光地の創生を進めることにより、地域全体の活性化につなげる必要がある
次世代を担う人材の育成			<ul style="list-style-type: none"> ・人材の育成は持続的・安定的な農林水産業の実現や新しい観光地の創生と連携して取り組みを進めていくことが必要 ・少子高齢化が進む中で地域の次世代を担う人材の育成を図っていくためには、市外から人材を募っていくことも必要
上段：短期的な取り組み 下段：長期的な取り組み			<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢志摩里海学舎の構築など里海ツーリズムや里海学習の推進を通して地域の子どもたちに志摩市の豊かな自然環境の保全や地域資源の持続可能な利活用、魅力ある商品開発、志摩市に継承されてきた里海文化について学ぶ機会などを提供し、次世代の地域を担う後継者を育成していくことが必要
里海文化の継承			<ul style="list-style-type: none"> ・里海文化を継承して行くことは、新しい里海創生によるまちづくりを進める上で不可欠であり、地域に継承されている文化をしっかりと整理、記録し、保全して行くことが必要 ・将来を見据えた「里海文化の伝承」に向け、人口減、少子高齢化対策とあわせて取り組みが必要